

五期俳句会第百六十三回三月二日

久し振りで皆元気で出席、俳句の前の習字で蔵本さんが
お雛様用の手作りお菓子を持って来て下さる。鶯餅と桜餅を
お雛様つぼく形を整えて、季節感たっぷり。

秒針のキラリと光り春隣

浅香さとみ

常よりも声のうるさき恋の猫

松浦武子

夕映えに開きし梅の楚々として

塩田亘子

ぽつぽつと芽吹きの時季ときの朝静か

今井由紀子

啓蟄や遊び心がうずき出す

浅香さとみ

手袋のままに拝むや村神社

久貝貞子

鉢植えの新芽顔出し微笑めり

塩田亘子

うららかや石段高き八幡宮

今井由紀子

金縷梅まんさくや黄の糸の花楚々として

松浦武子

空き家いへの赤い椿すねが拗すねている

浅香さとみ

星撒きし如くにも見ゆ犬ふぐり

松浦武子

チューリップ新芽五センチ雨しとど

久貝貞子

しずむ日を愁うる窓辺春隣

塩田亘子

一期一会いつのことかと藪椿

今井由紀子

如月やにげるが如き短か月

塩田豆子

野水仙風に首振る反抗期

今井由紀子

新聞の切り抜きの跡春寒し

浅香さとみ

観梅や花も香も良し蕾また

松浦武子

雪晴れや急ぎ残りし洗い物

久貝貞子

春一番道行く人のみだれ髪

塩田豆子

薬師像ふつくら胸に春浅し

今井由紀子

艶やかな濃き葉に赤き青木の実

松浦武子

百貨店はもう早くからひな人形を飾っていました。今はもう五月人形になり季節の移りがどんどん早くなってきましたね。

私もこの日曜で八十歳になります、でも、何年か振りに田沢湖スキー場へ行きます。まあ滑るのは少しで、乳頭温泉郷がお目当て、でも頑張っています。